

(仮称) 第四次稲城市長期総合計画市民会議

平成20年9月

第3号

市民会議だより



(仮称) 第四次稲城市長期総合計画市民会議の第3回会議を9月11日(木曜日)に開きました。
前回に引き続き、参加者が「豊水」「新高」「稲城」の3つのグループに分かれて、『将来都市像と基本目標の検討』というテーマで一人ひとり発言し、討論が行われました。これまでの内容に加え、より具体的な将来都市像・基本目標が話し合われました。

第3回 市民会議を開催しました

9月11日、稲城市役所6階会議室において第3回（仮称）第四次稲城市長期総合計画市民会議を開催しました。

各グループの代表者より、前回の会議での分散会のフリー討論の報告がされ、これに関する質疑応答・意見交換が行われました。

続いて、事務局から将来都市像・基本目標の討論の基本的な考え方、討論の進め方などについて説明があり、その後3つのグループに分かれて活発な討論・意見交換が行われ、およそ2時間の会議は終了しました。 出席者：19名

将来都市像と基本目標とは・・・？

『将来都市像』とは私たちのまち稲城市をどんなまちにしていくのか、どんなまちを目指すのかなど、目標とする将来のまちの姿をあらわしたものです。

また、将来都市像を実現するために、分野ごとあるいは分野のイメージ（まちづくりの方向性）ごとに分けた目標のことを、『基本目標』といいます。

将来都市像 = 目的：今後の稲城市のあるべき姿・理想の姿



基本目標 = 手段：将来都市像と現状とのギャップを埋めるもの

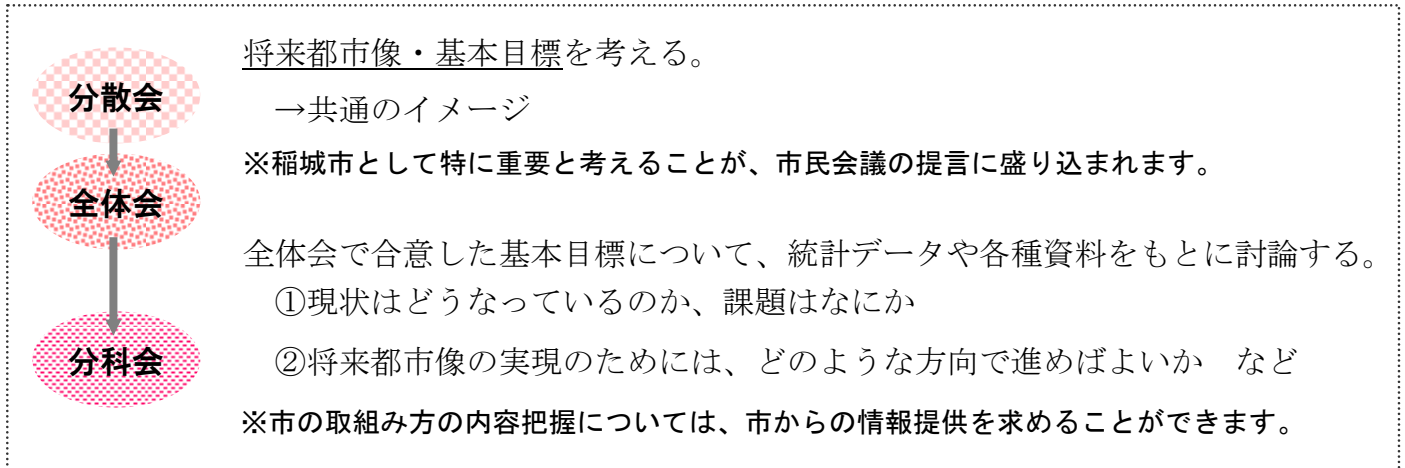
*これまでの将来都市像および基本目標

	将来都市像	基本目標
(昭和50年) 第一次	緑につつまれ	<ol style="list-style-type: none"> 1 緑につつまれた住みよいまちとするために 2 安全で快適な暮らしをいとなむために 3 都市と調和のとれた産業発展のために 4 しあわせで豊かな生活をきずくために 5 明日をきずく市民が育つために 6 友愛に満ちた出会いが生まれるために 7 施策を実現するために
(平成2年) 第二次	友愛に満ちた	<ol style="list-style-type: none"> 1 うるおいのある緑と水の住みよいまちづくり 2 安全で快適な環境のまちづくり 3 活力とにぎわいのある豊かなまちづくり 4 生きがいに満ちた健康で心ふれあうまちづくり 5 人間性豊かな市民文化のまちづくり 6 計画推進のために
(平成12年) 第三次	市民のまち 稲城	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民とともに進める心豊かなまちづくり 2 健康で安心して暮らせるおもいやりのあるまちづくり 3 共に学びふれあいのあるまちづくり 4 環境にやさしく安全で快適なまちづくり 5 水と緑につつまれたやすらぎのあるまちづくり 6 市民生活の活力を支えるにぎわいのあるまちづくり

＊これからの討論のすすめ方

9 月の 2 回の会議で分散会ごとの結論を出し、10 月の前半の全体会で市民会議としての将来都市像および基本目標の案を固めます。

その後、分科会に分かれてさらに具体的な討論を進めていきます。



◇質疑応答から

当日参加者から出された質疑と、その回答の一部を紹介します。

Q 将来都市像・基本目標は何年後を目標にして話し合えばいいですか？
ある程度は何年先の話か、数値的な目標（人口・財政など）を想定して議論しないといけないのではないのでしょうか。

A 一般的に総合計画は 10～12 年間の内容が盛り込まれます。稲城市では今後 10 年間というところで討論してください。
くわしい人口推計については、今後の対応となりますが、今のところ、これまでの増加傾向が続くことを前提に討論してください。

【前回の議論では】

- ①自然環境、特に緑地の保護と活用を望む
- ②稲城のアイデンティティの核となるものを創出すべき
- ③総合計画は、総花的で個性や特色が感じられない

地元農家と消費者がふれあえる場所がほしい

隣近所が顔見知り、有機的に結びついている街にしたい

子育ては、「ハード」（施設）だけでなく「ソフト」（サービス）も

災害に強い街

緑を守る、農地を守る取組が必要

子育て対策、働く女性への支援

車を使わなくてもいいまちづくり 歩道＞車道

グルー
稲城



前回の討論内容の報告

グループ

【前回の議論では】

- ①稲城のよいところ：里山・緑を子どもたちに残したい
- ②地域のコミュニティづくり
- ③第三次稲城市長期総合計画の検証

市立病院へのアクセスが不便

緑の多さは変えたくない

子どもの見守り：商店街の人の目（見守ってくれる）というのも重要

人口は自然の形での増加が望ましいのではないか

市立病院が稲城の特色の一つになり得るかも・・・

これ以上の空き家の増加は困る

【前回の議論では】

- ①今後も豊かな緑を保全したい
- ②ゆとりのある住宅地として存続したい
- ③ベッドタウンだけでなく、高齢者の就労の場の創出が重要
- ④子育てがしやすいまち
- ⑤障害者が暮らしやすいまち
- ⑥銀行やデパートなどを誘致して、駅前に賑わいを
- ⑦特色のある学校教育で、稲城市をアピール

グループ

福祉と教育を一緒に考えたい

「みどりにつままれた誰もが安全に暮らしやすいまち」

成長ではなく成熟するまち

子育てしやすいまち

交通環境の整備をして欲しい（特に平尾地区）

地域コミュニティの充実

自然の緑の保全と(計画的)緑化をしてほしい

高齢者・障害者が暮らしやすいまちにして欲しい

手入れの悪い緑はいらぬのではないか

平和で安全なまち

次回の市民会議

次回の市民会議は、9月27日(土)の14時から市役所6階603会議室で開催いたします。今回までに出された「将来都市像および基本目標」を参加者全員で確認し、分散会のグループごとにそれぞれ結論をまとめます。

豊水グループは、9月30日午後7時から市役所4階全員協議会室での開催です。



稲城の特産品：梨

(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議 市民会議だより

※お問い合わせ※



稲城市企画部長期総合計画担当
☎206-8601 稲城市東長沼 2111
☎042-378-2111 内線 537



稲城の特産品：ぶどう